

インドの主な繊維産地の概況

1. ハリヤナ州

北部のハリヤナ州はデリーを中心都市とする、繊維産業が充実した州のひとつである。テキスタイルおよび既製の生産額は10億ドル規模である。特にテキスタイルは同州の設備投資額の27%、同州からの輸出額の15%を占めている。

同州はコットンとウールを中心に原材料が豊富で、大規模縫製工場も存在する。また、デリーやグルガオンといった大消費地に近いというメリットもある。安価で潤沢な労働力も同州の特徴である。

同州の投資促進委員会は繊維産業の新規投資に対するインセンティブのため積極的な予算計上を行っている。また、繊維産業における生産拠点の集積化・効率化にも積極的に取り組んでいる。カルナールには履物および皮革衣料品の工業団地を設置、パニパットにはインド最大級のテキスタイルクラスターがある。このほか経済特別区（SEZ）や自由貿易地域（FEZ）など設置に意欲的である。

2. アンドラ・プラディッシュ州

アンドラ・プラディッシュ州はハイデラバードを州都とするインド南東部の州で、インド国内でも有数の繊維輸出の規模を誇る州である。繊維原料と生産設備は潤沢で、中繊維綿および長繊維綿を年間260万バール生産している。また、シルクの生産ではインド国内で第2位、ウールでは4位である。また、テキスタイル工場の数でも4位である。

同州には約70の紡績工場があり合計錠数は1,830万。オープンエンド紡機を有する工場は9工場、ローター数は合計で5,716。織布工場は1,050工場あり、織機の設備能力は合計で年間7億5,000万mである。また、綿布の加工地としても中心的な存在で、約100工場で年間1,300万mの加工能力がある。

縫製産地としてはバイザックが有名で、港町であり、人件費が比較的安く、インフラも整備されていることから、最近輸出縫製基地として注目されている。スリランカ系縫製企業の工場進出計画もある。

一方、発電に関するインフラ整備も進んでおり、州内の発電能力はインド第3の設備規模を有する。あわせて配電、送電などのインフラも充実している。

3. グジャラート州

インド北西部のグジャラート州の繊維産業は州のGDPの23%を占め、インドの繊維輸出額の12%を占める。また、シルク生地生産ではインド全体の40%を占める。

南部のスーラットは代表的な長繊維織物産地であり、インドの長繊維織物生産の9割を占める。織機台数は50～70万台規模といわれるが、WJLは約6,000台ほどであり、ほとんどが旧来型のフライ織機である。スーラットの郊外にはレピア織機を入れ、アウター系の織物を生産している大手の工場もあり、いわゆる産地の二重構造がみられる。

なお、同州には非常に発展した繊維機械産業と、National Institute of Fashion Technology(NIFT)のような繊維製品のデザインや発展を担う各種機関がある。

4. タミル・ナドゥ州

タミル・ナドゥ州はチェンナイを州都とするインド東部の州。インド最大のコットン産業の集積地で、インド全体のコットン生産の39%を占める。インド最大の繊維産地であるティルプールはインド最大の綿製ニット衣料の生産地で、約7,000のニット工場があり、輸出高は年間9億ドル規模で綿製ニット衣料の輸出額全体の90%を占める。同州は自らを既製の世界的な供給基地にすることを目標に、多くの海外ブランドの誘致を行っている。

同州は繊維産業に対するインセンティブとして、新規設備投資を行う企業に対し、生産設備の輸入に関する輸入関税および売上税の免除、電力税の免除などの施策を行っている。

5. ケララ州

南インドを構成する州の一つケララ州は紡績の規模ではインド最大の規模である。またハンドルームによる織布は輸出全体の10%を占める。綿糸が最大の繊維産品で、ニット衣料・生地がそれに続く。

同州にはテキスタイル加工基地、世界規模の縫製基地、工業製品の輸出基地などが比較的近距离にあり、非常に効率的な生産環境を整備している。

繊維産業に対する財政面でのインセンティブとして、新規設備投資額の15%（上限3万ドル）の投資補助金、工業団地内の繊維企業への印紙税と登録費の免除などを行っている。

なお、同州はパワールームを標準設備と位置づけ、ハンドルームからパワールームへの転換については個別の状況に応じインセンティブを与えている。

6. その他の州

パンジャブ州のルディアナ、シャンディガールは短繊維織物産地として名高く、VardhmanやNaharなどインド有数の紡織企業が生産拠点を構えている。

カルナータカ州のバンガロールは輸出向け縫製産地として欧米ブランドの注目度が高い。そのほか、マハラシュートラ州ナグプールや西ベンガル州コルカタは内需向け縫製が盛んな地域である。

なお、中央インドのデカン高原周辺は作物が取れにくい土壌の一方、巨大な人口を抱えるため、インド政府は縫製基地など軽工業を集積させるべく、積極的な振興を行っている。